

「茨城県立玉造工業高等学校 グランドデザイン」 令和8年度

校訓

至誠 勤勉 協和

いばらき教育プラン

基本理念『活力があり、県民が日本一幸せな県』

- ・新しい人財育成
- ・新しい豊かさ
- ・新し安全安心
- ・新しい夢・希望

育てたい生徒像

- ・工業の専門的な学びに主体的に挑戦し、ものづくりや資格取得をとおして確かな知識・技能を身に付ける生徒
- ・あいさつを大切に、多様な考えを尊重しながら、仲間と協働して物事に取り組むことができる生徒。
- ・自他の生命と人権を尊重し、安全と規律の重要性を理解して、自律的に(責任をもって)行動できる生徒。
- ・社会における自らの役割を探究し、進路実現に向けて粘り強く努力を続ける生徒。

目指す学校像

- ・至誠・勤勉・協和の校訓を基盤とし、現代社会において工業が果たす役割を深く理解し、確かな技術・技能を身に付けた生徒を育成する。
- ・習得した技術・技能を生かして地域社会の課題に向き合い、産業の発展を担う人材の育成を図る。
- ・自他を尊重して一人一人の個性を伸ばし、主体的に学び続ける豊かな人間性の育成に努める。

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- ・心身の健康を保ち、基本的な生活習慣を自己管理できる力。
- ・主体的に学びに向かう姿勢と、基礎学力および専門的知識・技能。
- ・自らのキャリアを設計し、進路実現に向けて必要な情報を探究する力。
- ・自他の安全を守る高い規範意識と、自律的に行動する力。
- ・豊かな人間性と社会性を身に付け、多様な他者と協働して地域社会に貢献する態度。

「教科横断的な指導」
「社会に開かれた教育課程」

何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・健康的な生活を意識し、規則正しい基本的な生活習慣を確立できている。
- ・キャリア教育(進路講話等)を通して、一人一人が進路に対する明確な目的意識を持つことができる。
- ・失敗を恐れず、「まずはやってみる」という前向きな姿勢(探究心・主体性)を持つことができる。
- ・進んで挨拶を交わし、自律的に校則や社会のルールを遵守できる。
- ・地域社会で活躍する人材の基盤となる、確かな知識・技能を身に付けている。
- ・教育活動全体を通して、社会で求められる豊かな人間性と高い規範意識を身に付けている。
- ・専門的な知識・技能の向上を目指し、資格取得や競技会等へ積極的に挑戦している。
- ・卒業後の自己実現を見据え、自らの進路に向けて計画的に努力することができる。

生徒の発展をどのように支援するか

生徒の実態

- ・自らの生活リズムを見直し、自己管理によって健康で規則正しい生活習慣を身に付けていく段階にある。
- ・卒業後の就職という大まかな目標に対し、これからの学びをとおして専門性を有する人材としての明確なキャリア観を形成していく可能性を持っている。
- ・個々に応じた学習支援により、義務教育段階の基礎的・基本的な学力が定着し、大きく飛躍する素地がある。
- ・ものづくりや学校生活での様々な経験をおとして、自らの良さに気づき、自信と自己肯定感を大きく高めていく伸びしろを秘めている。

朝学習の充実
個に応じた指導(習熟度別)
進路ガイダンス
職業講話

目指す生徒の姿

- ・自ら心身の健康を管理し、基本的な生活習慣をしっかりと身に付けている。
- ・キャリア教育やキャリアパスポートの活用をおとして自己の在り方生き方を考え、自らを管理しながら、明確な目的意識をもって主体的に進路を探究できる。
- ・未知の課題に対しても「まずはやってみる」という前向きな探究心で、主体的に学習に取り組むことができる。
- ・資格取得等への挑戦と成功体験の積み重ねにより、高い自己肯定感(やればできるという自信)を持っている。
- ・自律的な規範意識や社会的なマナーを身に付け、時と場に応じた責任ある行動がとれる。
- ・自らの進路目標を見だし、その実現に向けて計画的かつ粘り強く努力する力を持っている。
- ・部活動やボランティア活動等へ積極的に参加し、多様な他者と協働して地域や社会に貢献する姿勢を持っている。

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・1年次習熟度別学習。
- ・「朝学習」時間の設定。
- ・学びの基礎診断の実施
- ・著名人による講話の実施。
- ・進学模試の実施。
- ・各種検定試験の指導。
- ・教育相談体制の充実(スクールカウンセラー)。
- ・ICTの効果的な活用による授業改善と、主体的・対話的で深い学びの推進。
- ・マナーアップ運動の実施。バイク講習会の実施。
- ・進路ガイダンスの実施。インターンシップの実施。
- ・課題研究全校発表会の実施。
- ・ものづくりコンテストへの参加。
- ・小中学校での出前授業等の実施。
- ・地域交流事業の実施。
- ・部活動の活性化。HPへの掲載。
- ・教職員研修の充実と、持続可能な学校運営に向けた働き方改革の推進。
- ・保護者・地域・近隣企業と連携など外部の機関及び人材の活用。

安心・安全を守る

- ・通学時の事故ゼロを目指す。
- ・地震・火災・不審者等の緊急時に安全に避難する。
- ・工業科の授業・実習での事故ゼロを目指す。
- ・薬物乱用防止講話。
- ・きめ細やかな教育相談・支援体制の充実により、心理的安全性を確保する。

開かれた学校づくり

- ・学校行事の保護者参加と地域への公開。
- ・異種学校間交流(小中学校での放課後こども教室、出前授業)
- ・行方市の各種行事にボランティア参加。
- ・課題研究発表会の公開。
- ・玉工通信の発行とHPの充実。